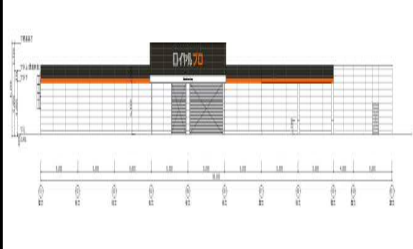


# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル (2016年改訂) ■使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ロイヤルプロ名古屋中川 新築工事	階数	地上1F
建設地	名古屋市中川区富川町1丁目1番3	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,200時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2023年7月19日
敷地面積	5,521㎡	作成者	
建築面積	2,466㎡	確認日	2023年7月19日
延床面積	2,451㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 81%  
③上記②以外のオンサイト手法 81%  
④上記+オフサイト手法 81%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.9

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	3.0
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1

機能性	3.0
耐用性	3.0
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.4

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.6
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.4
汚染物質	2.7

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3

地球温暖化	3.7
地域環境	2.9
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	メイン道路に面する壁面はできるだけ後退させた位置に配置し、周囲への圧迫感の軽減に配慮した計画としました。又、来客用に十分な駐車スペースを確保し、公共の交通の流通性に配慮しました。	その他 特にありません。
Q1 室内環境	売場の天井高さを4.0m確保し、ゆったりとした空間の創出に配慮します。又、壁・天井の仕上材等もF☆☆☆☆の材料を使用し、有害物質の発散を小さく抑えるように配慮します。	Q3 室外環境(敷地内) 計画敷地内には出来るだけの植栽を計画し、周囲の環境に配慮し、良環境の創設・維持に努めます。
LR1 エネルギー	照明機器はLED機器を使用し、空間機器に関してはCOPの高い機器を使用します。	LR3 敷地外環境 空調機器はノンフロン冷媒を使用し、排熱に関しても直接道路に排出しないように配慮します。
Q2 サービス性能	店内はバリアフリー仕様とし、廊下の幅を大きく取り、来店客の移動をスムーズに行える様に配慮します。	
LR2 資源・マテリアル	躯体+軽鉄+仕上材のF+Tを採用します。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

(仮称)ロイヤルプロ名古屋中川 新築工事

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>1. 温暖化対策</b>				<b>3.6</b>
LR1	エネルギー	3.7	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.7	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
<b>2. 自然共生</b>				<b>1.9</b>
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.090627805	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.00906278	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045313902	
<b>3. 循環型社会</b>				<b>3.3</b>
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

### 結果

<b>1. 温暖化対策</b>	評価点 = 3.6	
<b>2. 自然共生</b>	評価点 = 1.9	
<b>3. 循環型社会</b>	評価点 = 3.3	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。